

神戸大学医学部附属病院

腎臓内科

指導担当医（役職）

後藤 俊介（助教）

実習概要

概要

腎臓内科の主治医団の一員として4週間過ごします。学生1人当たり、腎臓内科入院中の患者1人以上、また血液透析患者を1人以上担当してもらいます。そして入院患者についてどう対応するか考えてもらい、それについて担当指導医よりフィードバックしてもらいます。その他、いくつか課題に対してレポートを作成してもらい、そのフィードバックも行います。

医療面接

適宜、担当患者の医療面接を行います。

身体診察

適宜、担当患者の診察を行います。

カルテ記載

適宜、担当患者のカルテ記載を行い、指導医よりフィードバックしてもらいます。

症例プレゼンテーション

適宜、指導医に対して担当患者のプレゼンテーションを行ってもらいます。

その他（特色など）

腎臓内科の外来診療や腎生検がどんなものか体験することができます。

学生へのメッセージ

4週間あるため、様々な腎臓病症例を経験することができ、また臨床実習1では経験できなかった、血液透析患者や腎移植患者に対して腎臓内科医がどう対応しているかも学ぶことができます。腎臓病患者は非常によく出会いますので、きっと皆さんの糧になると思います。